

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第9回）議事概要

日 時 令和5年（2023年）1月11日（水）14:00～15:30

場 所 市役所2階 2-4会議室（オンライン併用会議）

出席者

<まちづくり協議会>

まちづくり協議会名	参加者名・役職	参加方法	
		対面	オンライン
仁川まちづくり協議会	綿 昭人会長	●	
宝塚市高司小学校区まちづくり協議会	川島 昭会長		●
宝塚市良元地区まちづくり協議会	平田 武二会長代行		●
宝塚市光明地域まちづくり協議会	前川原 修一会長	●	
宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会	加藤 富三会長		●
宝塚市西山まちづくり協議会	久保田 洋一会長		●
まちづくり協議会コミュニティ末広	豊田 茂男代表		
宝塚第一小学校区まちづくり協議会	山本 敏晴会長		●
逆瀬台小学校区まちづくり協議会	石谷 清明会長		●
宝塚市すみれが丘小学校区まちづくり協議会	押条 雅英代表	●	
宝塚小学校区まちづくり協議会	喜多 毅会長	●	
売布小学校区まちづくり協議会	笹田 光治会長		●
小浜小学校区まちづくり協議会	藤本 真砂子会長		●
宝塚市美座地域まちづくり協議会	糸瀬 豊光代表		●
安倉地区まちづくり協議会	岡本 康夫会長	●	
宝塚市長尾地区まちづくり協議会	阪上 良彦会長		●
中山台コミュニティ	松下 義弘会長		●
宝塚市山本山手地区まちづくり協議会	安達 みづほ代表	●	
宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会	三島 基道会長		●
宝塚市西谷地区まちづくり協議会	二井 久和会長		●

<その他>

宝塚市 山崎市長

市民交流部 上田部長、浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他

総合防災課 嘉村係長、久家職員

宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏

宝塚市社会福祉協議会 前菌課長

傍聴者 なし

## 議事概要（要旨）

- 1 宝塚市長新春挨拶（山崎晴恵市長）  
山崎市長より、新春挨拶が行われた。
- 2 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第8回）議事概要の確認  
各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。
- 3 まちづくり協議会代表者への災害時の情報伝達手段の整備について（総合防災課）  
総合防災課より、配布資料に基づき説明があったのち、以下の通り、質疑応答があった。  
ア 同じまちづくり協議会内で、何人も登録してよいか。  
イ （総合防災課）上限はないが、最低でも1人以上登録をお願いしたい。
- 4 地域ごとのまちづくり計画
  - (1) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告  
市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。  
まちづくり協議会コミュニティ末広の推進シート、宝塚市良元地区まちづくり協議会、まちづくり協議会コミュニティ末広、逆瀬台小学校区まちづくり協議会、宝塚小学校区の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から報告があった。（※前回、内容を報告済みのものは省略。）  
ア 【宝塚】郷土の歴史を知ってもらうことで、郷土愛が生まれると思う。散在しているものを集めて、一か所にまとめた。なお、ハコモノを作ることが目的ではない。
  - (2) （再周知）令和4年度地域ごとのまちづくり計画進捗確認の実施  
市民協働推進課より、「令和4年度進捗確認シート」の提出依頼（令和5年3月末）について、再周知があった。また、進捗状況については総会で報告を行うよう、改めて依頼があった。
- 5 地域活動のデジタル化
  - (1) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の活用状況  
各まちづくり協議会より、活用状況について、情報の共有があった。  
ア 【宝塚】デジタル担当を指名して進めている。デジタル化記念として、3月にZOOMを活用した認知症にかかる講座を開催する。
  - (2) 地域活動のデジタル化の将来像  
市民協働推進課より、配布資料に基づき説明があり、デジタル化の目安として「地域活動のデジタル化の将来像」を令和4年4月、9月のまちづくり協議会代表者

交流会で提示した内容で確定することとなった。また、以下の通り、意見があった。

- ア 事務（会計）処理を様々なデバイス間で共有しながらできればよいと思う。まちづくり協議会と市との間の報告（補助金精算報告）等も一定のフォーマットに基づいて入力すると、自動的に会計報告ができるように将来的にならないのか。
  - イ （市）具体的に補助金の精算報告が挙げられると思うが、負担軽減について会計担当者会で意見交換ができればと考えている。各まち協の管理方法が様々であること等から、一気に統一することは難しいと感じている一方、事務の効率化に向けて皆さんのアイデアをいただきながら検討してきたいため、会計担当者会で当課からの提案に対して率直なご意見をいただければと思っている。
  - ウ 今、ここで固めたものだけでなく、今後さらに広めていけたらと思っている。引き続き検討していきたい。
  - エ 当まち協は推進、対話シートはあえて提出せず、ダイレクトに各課と交渉しており、これも効率化だと考えている。今般、宝塚第一小学校教育環境適正化委員会が発足され、地域内に高層マンションが建つこともあり、至急で教育委員会に掛け合って、市民協働推進課には報告する手法をとった。効率化も考えて、活動することも大切かと思う。
- (3) (再周知) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の実績報告  
市民協働推進課より、12月9日付でメール送付した標記の件について、令和5年2月28日ㄨ（返還がある場合は、2月中旬ㄨ）である旨、再周知があった。

## 6 新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域活動

各まちづくり協議会より、地域活動の状況について、情報の共有があった。

- ア 各まち協に尋ねたいが、イベント開催時に、スタッフに抗原検査やPCR検査の実施を求めたことはあるか。餅つき開催時に、PCR検査をすべきではないかという意見があがったため参考に聞いている。
- イ （市）バス旅行開催時に、参加者のうちワクチンを打っていない人は、PCR検査必須としていたところがあったと記憶している。マスク、検温、消毒といった基本的な感染対策が行われていることは印象に残っているが、抗原検査、PCR検査まで求めているところはあまり見かけない。また、飲食の可否は対応が分かれていると思う。

## 7 市民協働推進課からのお知らせ

### (1) (再通知) 会計担当者会の開催のご案内

市民協働推進課より、12月9日付で案内があった標記の件について、出席者確認の提出を求める旨、再周知があった。

8 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下(1)について、周知があった。

(1) 講座(明日から実践できる資金調達のキソ)のご案内

9 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下(1)について、周知があったのち、以下の通り質疑応答があった。

(1) 赤い羽根共同募金運動公募配分団体募集について

ア 応募は一度だけしかできないか。

イ (社協)(同じ団体でも)新しい事業に活用するということであれば問題ない。

ウ 同じ事業の年度替わりでの再応募はできないか。

エ (社協)同じ事業であれば基本的に難しいと思うが、事業拡大であれば可能となる場合もあるので、是非相談会で相談してほしい。

10 その他

なし。

11 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以 上